

エコに移動してほしい！！



～パークアンドライドと次世代の交通システム～

突然ですが、パークアンドライドをご存知ですか？パークアンドライドとは、「従来都市部まで自動車を乗り入れていた通勤者などが、自宅最寄りの駅近くの駐車場に車をとめて、公共交通機関で移動する仕組み」のことです。そして最近では、新たな交通システムが注目されています。

1 エコな移動のメリット ～渋滞の緩和とCO₂削減

都市中心部や観光地は渋滞が発生しやすいですが、渋滞が緩和すると到着時間を見込んで行動できるだけでなく、排気ガスの削減にもつながります。また、人間1人を1キロメートル運ぶのに排出されるCO₂の量を比較すると、自家用乗用車はバスの約2.5倍です。交通手段を公共交通機関に変えるだけでもかなりのCO₂削減となり、環境負荷の低減につながります。



※参照：国土交通省 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

2 パークアンドライドを実際に利用してみよう！

時間貸駐車場「Times」を運営するタイムズ24株式会社は、2007年から「交通ICパーク&ライド」を実施しています。これは、交通ICカードPASMOやSuicaで電車を利用した乗客に、Times駐車場の料金を優待するサービスです。全国各地の鉄道会社と連携し、2008年にはJR東日本、2012年には千葉都市モノレールでも開始しました。実際に導入された千城台駅では、当日最大料金600円のところ100円引きの500円で駐車場を利用することができ、また、JR稲毛駅西口にあるTimesでは、最大料金から220円の優待が受けられ、通勤などで頻繁に使う人にとって環境にもお財布にもやさしいシステムとなっています。

※参照：タイムズ24株式会社 <https://times-info.net/feature/pandr/cooperate.html>

3 次世代の交通システム ～新モビリティサービス実証実験

千葉大学は、千葉市・株式会社NTTドコモ・アイシン精機株式会社・イオンモール株式会社との連携のもと、海浜幕張エリアで電動小型モビリティ「ILY-Ai」（アイシン精機提供）を使った自動運転の実証実験を、2020年11月21日から1ヶ月間実施しました。今回の実験では「AI運行バス」の運行や「電動小型モビリティ」の貸し出しを行いました。将来的には、さまざまな次世代型モビリティや公共交通機関を連携し、一つのIDで出発地から目的地までの移動手段の検索・予約・決済を一括して利用できるなどのMaaS(Mobility as a Service)の仕組みを実現し、都市部における渋滞の削減や環境負荷の低減を目指しています。



※参照：千葉大学学術研究・イノベーション推進機構 https://www.ccr.chiba-u.jp/information/post_24.html

国土交通省「新たなモビリティに関する近年の状況について」 <https://www.mlit.go.jp/common/001257733.pdf>

あとうがき

今回は車について取り上げましたが、環境負荷を減らすためのサイクルアンドライドと呼ばれる、「最寄り駅まで自転車で行き電車に乗る」取り組みもあります。通勤通学はもちろん、ちょっとしたお出かけの際に、自転車も活用してみたいはいかがでしょうか。

環境ISO学生委員会 畔柳優生 酒井一成 鈴木海斗 萩原佳祐 向山沙弥香